



全国女性建築士会連絡協議会報告

道央Aブロック 早川 陽子

私が初めて参加したのは平成7年。以来、全建女は建築士会事業の中でも問題意識、参加意識が高く、開催が待たれる事業の一つに成長しました。



7月13日(土)14日(日)東京。「地域と共生する居住環境づくり」のテーマのもと300名を越す参加者でした。北海道の参加者は7名。総合司会の本間委員長、分科会担当の東連合会委員、金子、工藤両副委員長は分科会のコメンテーター、サポート役として北海道の女性達が大活躍の熱い2日間でした。

【1日目】全体会

○基調講演「江戸に学ぶ狭苦しさ」建築家天野彰氏が自ら手がけた事例から、負を正にする発想で様々な生活スタイルを軽快なトークで講演されました。

○単位士会活動発表

UD(兵庫)、DIG(鳥取)、建築士が地域と連携して社会貢献した好事例で、これからは職能を生かした外向けの活動の必要性を感じました。

○「震災被災地における現状報告と取り組み」岩手、宮城、福島、

長野。3.11以降、自ら考え行動し、建築の枠を超え社会問題とも関わりながら未来への希望をあきらめない姿勢は、参加者の心に一石を投じたように思いました。

○「高齢者・障害者の居宅サービス受給に適した住宅事例調査」(H24年度)進捗状況が永井連合会女性委員長から報告され、全国レベルの事例報告書の完成が楽しみです。

【2日目】分科会

話題性のある事例発表を基に問題提起～意見交換で構成。

全国の参加者が一同に集まって討論する…このパワーを実感出来る事は大きな魅力であり、これからも持続してほしいものです。

北海道は4分科会に参加。

- (A) 防災への取り組み(金子)
- (B) ボランティア活動の報告と取り組み
- (C) 歴史的建造物と建物再生(吉田)
- (D) 環境共生住宅と素材
- (E) 景観まちづくり
- (F) 子どもと住環境
- (G) 高齢社会(東、工藤、種田)
- (H) 集まって住む(早川)



H分科会の様子/WS形式で意見交換

全国の女性達との交流は視野を広げ自らの可能性を気づかせてくれます。紙面ではそのパワーを伝えきれません。参加経験のない皆さん、次回は是非ご参加ください。

第2回女性委員会報告

女性委員長 本間 恵美

7月27日に第2回女性委員会を開催しました。出席者9名。

■全道大会分科会について

- ・講師2名より庭や外構についての講話の後意見交換
- ・アンケートの実施(担当吉田)

■活動報告パネルについて

- ・前年の女性委員会の活動(各支部での活動を含む)について写真にて報告。(担当新海)

■女性建築士の集いについて

- ・9/22 担当5名により運営

■道受託事業「建築士による家庭科住教育出張講座」について

- ・9/2 旭川凌雲高等学校 道央Aブロックより3名 道北ブロックより7名参加予定
- ・12/10 白老東高等学校 道央Aブロック、道南Bブロックより10名程度参加予定

■住教育講座のための「建築士向けセミナー」について

- ・10/5 札幌で開催。会誌にチラシを同封して参加者募集

■教師向け家庭科住教育出張講座について

- ・10/25 函館商業高等学校において開催。渡島・檜山地区の20名程の家庭科教諭が参加予定。女性委員会より3名と函館支部より2名程度の講師を派遣予定

■連合会女性委員会について

- ・7/13・14東京開催の全国女性建築士連絡協議会は7名が参加 A分科会「震災①防災への取り組み」では、釧路支部の金子ゆかりさんが、行政と共同で行った町内会を対象としたDIGのワークショップについて報告
- ・高齢者・障害者の住宅事例調査は、全国34都道府県102事例中、北海道は12事例を提出

委員会終了後は、毎年恒例となっている、札幌大通りビアガーデンの納涼会で盛り上がりました。